第２章　学習の見通しを立ててみよう。

|  |
| --- |
| ●「豊かさ」とは何だろう。自分なりに「豊かさ」を定義してみよう。 |

１　戦後日本経済の成長と課題　　　　　　　　　　　　　　　　　▶ 教科書 p.132～133

日本経済の復興と高度経済成長

ＧＨＱ（**連合国軍総司令部**）による民主化政策

1946年　政府が〔①　　　　　　〕を導入

→鉄鋼・石炭など基幹産業の生産力増強

1956年　『経済白書』に「〔②　　　　　　　　　〕」との表現

1950年代後半～70年代前半　年平均10％の成長

→人々の所得の標準化〔③　　　　　　〕へ

→急速な経済成長による，〔④　　〕や過疎・過密などの社会問題

安定成長からバブル経済へ

1973年　**第１次**〔⑤　　　　〕…原油価格が４倍に高騰

→翌年，戦後初のマイナス成長

　1979年　**第２次**〔⑤〕

→日本経済は，二度の〔⑤〕を省エネ技術の開発，産業構造の転換，経営の合理化などで乗り切る

→1980年代，年率４～５％の**安定成長**を実現

＊アメリカとの間で深刻な貿易摩擦

1985年　ドル高是正をはかる〔⑥　　　　　　〕

→円高の進行，日本製品の輸出競争力が落ち**円高不況**に

・円高是正のため超低金利政策の実施

→資金が土地や株式など資産取引に吸収される

資産価値が経済の実態を離れて上昇＝〔⑦　　　　　〕

**バブル崩壊と長期不況**

政府の地価抑制政策，日銀の金融引き締め

→地価や株価が大きく下落（バブル崩壊）

→多くの企業が倒産，企業に融資していた金融機関は多額の〔⑧　　　　〕（回収不能となった融資資金）を抱える

**【長期化する不況】**

・金融機関が融資条件を厳しくする ＝〔⑨　　　　〕

→中小零細企業の資金調達が困難に

・企業の人員整理も含む**リストラクチャリング**（組織再編）

→戦後最悪水準の失業率

1990年代の不況は「〔⑩　　　　　　　〕」と呼ばれる

構造改革と実感なき好景気

1990年代　不況対策として積極的な財政支出→〔⑪　　　　〕の発行急増

→**財政構造改革**に着手

・行政経費の節約

・公的事業の〔⑫　　　〕…日本道路公団や郵政３事業など

・〔⑬　　　　〕…企業間競争による経済活性化

→不況からの脱却と税収の安定確保をめざす

2002年～　戦後最長の好景気（2008年まで）

→低い成長率，賃金の低い非正規雇用の増加，正社員の賃金や給与も低く抑えられる

＝「〔⑭　　　　　　　〕」といわれた

2008年　アメリカ発の〔⑮　　　　〕

世界的な景気後退，日本もマイナス成長

→失業率の上昇，非正規雇用の雇い止めや賃金低下，格差の累積的な拡大

**Check資料読解　　１教科書p.132の資料１「経済成長率の推移」　長期的に見て成長率はどのように変化してきたのか，傾向を読み取ってみよう。以下の文章の〔 ア 〕～〔 エ 〕に数値または適語を書きなさい。**

高度経済成長期の1956～73年度の平均成長率は〔**ア**　 　〕％，石油危機からバブル景気までの1974～90年度の平均成長率は〔**イ**　 　〕％，バブル崩壊以降の1991～2018年度の平均成長率は〔**ウ**　 　〕％であり，長期的に見ると，成長率が段階的に〔**エ**　　　　〕してきたことがわかる。

**２教科書p.133の資料２「企業の倒産件数・負債総額と失業率の推移」　1990年代に急増したのはなぜか，本文を見て確認し，あてはまるものを次の①～⑤のうちからすべて選びなさい。**

①　多額の不良債権を抱えた金融機関が貸し渋りをおこなった。

　②　1985年にドル高是正をはかるプラザ合意が結ばれた。

　③　経営資金を調達できなくなった多くの中小企業が倒産した。

　④　2008年には，アメリカ発の金融危機の影響で，日本経済はマイナス成長となった。

　⑤　企業は，人員整理を含む大胆なリストラクチャリング(組織再編)をおこなった。

**３教科書p.133の資料３「名目賃金・実質賃金・消費者物価指数の推移」　賃金が低下している理由を本文で確認してみよう。また，好景気を実感できない理由を考えてみよう。以下の文章の〔 ア 〕～〔 オ 〕に適語を書きなさい。**

低賃金で人員整理のしやすい〔**ア**　　　　　　 〕が増え，正社員の賃金や給与も〔**イ**　　　 〕抑えられた。一方で，〔**ウ**　　　 〕は賃金ほど低下しておらず，〔**エ**　　　 〕賃金が増加傾向に転じた際も，それ以上に上昇しているため，〔**オ**　　　 〕賃金が低い水準にあり，好景気が実感できない。

**Try　　2000年代になって景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいるのはなぜだろうか，考えてみよう。**

|  |
| --- |
|  |

**>>> 民主化政策**

・財閥解体…軍国主義を支える基盤と考えられた財閥の解体

・農地改革…小作制度を廃止し，農地を小作人に売却

・労働関係の民主化…労働三法（労働基準法，労働組合法，労働関係調整法）制定

**>>> 高度経済成長の要因**

・企業による海外技術の導入や，積極的な設備投資

・国民の購買力が向上したこと

・国民の高い貯蓄率

　→企業の設備投資資金に

・原油などの資源やエネルギーを安く輸入できた

・安価で質の高い労働力を確保できた

（→教p.132❶）

**>>> 戦後の日本経済**

第１次産業の比重が低下し，第２次産業や第３次産業の比重が高まった（産業構造の高度化）。また，モノ（ハードウェア）の生産よりも知識や情報（ソフトウェア）の生産が中心となる，経済のソフト化，製造業に対してサービス業の比重が高まる経済のサービス化が進んだ。（→教p.133➋）

**>>> デフレ・スパイラル**

90年代後半からは，物価の下落も進み，2001年，政府は戦後はじめてデフレ状態にあることを認めた。また，労働者の賃金抑制が消費需要を減退させ，物価が下落してさらに企業収益が悪化するデフレ・スパイラルも見られるようになった。（→教p.133❸）

**>>> 〔**⑮**〕**

アメリカの低所得者向けのサブプライムローンを証券化した商品が不良債権化して暴落した。2008年には代表的な投資銀行リーマン・ブラザーズが破たんするなど，世界の金融市場に大きな混乱をもたらした。

（→教p.193）

２　転機に立つ日本経済　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▶ 教科書 p.134～135

これからの経済社会

・2011年　東日本大震災，福島第一原子力発電所事故

日本の社会と経済に甚大な被害

・復興費用のわかちあい

・新たな災害への備え

・21世紀の経済社会のあり方を考える必要

・2019年後半～　新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大

　　　　　　　　→世界全体の経済活動の停滞

**［今後の課題］**経済的損失や所得格差の拡大への対処

人口減少への対応

・少子高齢化の進展

→〔①　　　　〕の減少，〔②　　　　　〕の増大

→女性労働力の活用，保育所の増設など子育て支援策

格差問題の解消

・都市と地方，労働者間の格差

→消費活動の低迷，〔②〕の増大で経済成長抑制

競争力の維持

・急速な進展が予想される経済のグローバル化

→国際競争力を持った産業分野や企業の育成，世界に貢献できる人材育成

・2018年　〔③　　　　　　　〕発効

　　　　　　　…貿易の活性化が見込まれる一方，国内農業への脅威も懸念

　　　　　　　　→公正な貿易ルールを維持しながらの新たな競争力の開拓が求められる

新しい技術への対応

・人工知能（〔④　　〕）の開発…従来の産業構造を大きくかえる情報技術

　**［期待］**労働力不足を補い，生産性を向上させることによる低賃金の解消や国際競争力の維持

**［懸念］**多くの職業への導入による失業の増加や格差の拡大

**Check資料読解　　１少子高齢化が進行し働く現役層が減少していくとどのような課題が生じるのか，教科書p.160で確認し，次の文中の〔 ア 〕～〔 オ 〕に適語を書きなさい。**

　　少子高齢化が進行すると社会保障制度について以下の問題が指摘される。第一に〔**ア**　　　　　　　 〕の予算不足，第二に〔**イ**　　　　　　〕の維持への不安，第三に〔 **イ** 〕や健康保険について，〔**ウ**　　　　　〕や給付水準に格差が生じている問題，第四に〔**エ**　　　　　 〕，とくに高齢者の〔**オ**　　　　　　　 〕の充実が必要。一方，少子化への対応として，子育てや教育にかかる経済的負担を社会的に共有していく政策も必要となってくる。

**２教科書p.134の資料２「ジニ係数の国際比較」　次の図（教科書p.105のactive）と対比し，政府の大きさが格差にどう影響するのか，考えてみよう。下の文中の〔 ア 〕～〔 オ 〕は適当な語句を選び，〔 カ 〕・〔 キ 〕に適語を書きなさい。**